

掲示板

「掲示板」は毎月1日号に掲載します。
 次回3月1日号の締め切りは2月10日(金)です。
 詳しくは、本庁秘書広報課広聴広報係 ☎21-8182へ。

第11回いわい美術展2011

- ◆会期…2月24日(金)～27日(日)10:00～17:00(最終日は16:00まで)
- ◆会場…一関文化センター展示室
- ◆展示作品…油絵・水彩画・アクリル画・日本画・版画・刻字・染織 ほか
- ◆出品料…一般3500円(出品を希望する人は事務局までご連絡ください)
- ◆出品受付期限…2月17日(金)
- ◆入場料…無料
- ◎問い合わせ先…いわい美術振興協会事務局・及川 ☎23-3824

中国語教室生徒募集

- ◆開講日…毎月第2・第4日(土)9:30～11:00
- ◆会場…一関公民館3階
- ◆受講料…月1500円
- ◆入会費…3000円
- ◎問い合わせ先…一関国際交流協会 ☎☎ ☎午前/FAX31-1351電子メール ichikoku@vega.ocn.ne.jp

ファンタジックコンサート

- 地元の子供たち「ドリームキッズ」とプロのジャズミュージシャン「サキソフォビア」によるコンサートです。3回目の今年は、中川ひろたかさんをスペシャルゲストに迎え、NHKいわてみんなの歌「大根コン」が人気の吉野崇さんらも共演します。
- ◆日時…2月13日(土)14:00(開場13:30)
 - ◆会場…室蓬ホール(摺沢駅隣接)
 - ◆入場券…前売り1200円、当日1500円(小学生以下無料)
 - ◎問い合わせ先…キッズプロジェクト・サポーター・菅原 ☎090-7522-6189

市民スキー大会参加者募集

- ◆日時…2月20日(土)9:30競技開始
- ◆会場…まつるベスノーランド南コース
- ◆種目…大回転(スキーおよびスノーボード)
- ◆受付期限…2月12日(土)12:00
- ◆申し込み方法…市内スポーツ店に備え付けの大会要項・申込書により店頭で
- ◎問い合わせ先…一関市スキー協会事務局・小野寺 ☎090-7060-9704

デモンストレーター“匠”講習会

- 「自然で楽なスキー」をテーマに、新しい概念のパラレルターンを体験していきます。
- ◆日時…2月5日(土)9:45開始
 - ◆会場…まつるベスノーランド
 - ◆講師…三浦孝純さん(SAJデモンストレーター・一関市スキー協会)
 - ◆定員…先着15人
 - ◆受付期限…2月5日(土)9:30
 - ◆対象…18歳以上で2級程度の技術の人
 - ◆参加料…5000円(リフト券など含まず)
 - ◎問い合わせ先…まつるベスノーランド事務局・鈴木 ☎090-1067-5305

スキー・スノーボードツアー参加者募集

- 参加費にはリフト代・昼食券は含まれていません。詳細はお問い合わせください。
- ◆日時…2月11日(土)一関市総合体育館7:20出発
 - ◆会場…安比高原スキー場
 - ◆参加費…一般3500円、協会員・中学生以下3000円
 - ◆定員…30人
 - ◆受付期限…2月6日(金)
 - ◎問い合わせ先…一関市スキー協会事業部・小野寺 ☎090-2602-1118

せんまやひなまつり



- 千厩ひなまつり実行委員会が主催し、ひな人形などの展示のほか、スタンプラリー、お抹茶会などをを行います。詳細はお問い合わせください。
- ◆期間…2月11日(土)～3月3日(日)
 - ◆会場…千厩酒のくら交流施設・千厩商店街
 - ◆イベント…【つるし雛作り体験】2月17日(土)・24日(土)・3月2日(日)10:00～12:00 ※有料【子供フェスタ】(元気に遊ぼう・出前餅つき)2月27日(日)10:00～12:00【琴演奏会など】2月27日(日)13:00～
 - ◎問い合わせ先…千厩酒のくら交流施設 ☎53-2070

NHK学園受講者募集

- 趣味・教養から語学・資格まで、幅広いジャンルの講座が200コース以上あります。無料の案内書をお気軽にご請求ください。
- ◆受講期間…3カ月～1年(講座により異なります)
 - ◆対象…一般
 - ◆申し込み方法…ご請求により案内書をお届けします。電話、ファクス、ホームページからお申し込みいただけます。
 - ◎問い合わせ先…NHK学園〒186-8001 東京都国立市富士見台2-36-2 ☎042-572-3151 FAX042-574-1006 ホームページ <http://www.n-gaku.jp/life>

市長のお仕事百景 No.8 一関市長 勝部 修



■1月4日 仕事始め式での市長あいさつ。「ウサギは跳ねる、ジャンプ、飛躍のイメージで語られるが、いきなりジャンプしなくてもいい、まずは踏み出そう、小さな一歩でもいい、みんなで一緒に踏み出そう。ウサギのように耳を立て情報をつかもう、油断して亀に抜かれないよう緊張感を持って取り組もう」

■1月13日 「小学生の社会科見学で工場訪問した時の印象が強く、中学生の時にこんな会社で働きたいと思い先生に相談、一関高等専門学校に進学して専門科目を学び応募した新卒者を面接、採用決定した」と岩手に工場をもつ大阪の企業の常務さん。岩手の人材(財)を高く評価していただいています。

■1月14日 「地域医療を守り育てる市民フォーラム」に出席。「地域医療の現状を理解し自分たちに何が出来るかを共に考えることが大事、地域医療を守るとは地域を守ることそのものです」と開会式であいさつしました。自治医科大の梶

井英治教授、千葉県東金市のNPO法人理事長藤本春枝さんの講演、パネルディスカッション。千厩病院を守り隊(朝顔のたね)の寸劇は、地域医療を守ろうと呼びかけるもので、その演技力はお見事。今後いろいろな場面で引っ張りだこになるでしょう。

■1月17日 阪神淡路大震災から16年が経過し、あらためて防災の対策と危機管理の重要性を認識。16年前、地震発生の初期情報が首相官邸に素早く届かなかったことを忘れてはなりません。ミュージカル平泉の盛岡公演、関係者の皆さんお疲れさまでした。

下は平泉の遺跡から発掘された木製の灯台(重要文化財 平泉文化遺産センター所蔵)。右は中尊寺経蔵の堂内具として使われてきた螺鈿平塵灯台(複製 原資料国宝 中尊寺蔵)。開催中のテーマ展「あかり」で展示中です



装飾も華麗で、黒漆地に金のやすり粉の粗いものを蒔いて研ぎ出した平塵という技法を用い、南方産の夜光貝の貝殻を平らに磨いて形を切り抜き、漆地にはめた螺鈿で飾っています。文様は想像上の五弁花をかたどった宝相華文と蝶文をあしらっています。藤原氏の栄華を物語る逸品です。紺紙金銀字交書一切経そのほかを納める経蔵では、この灯台を仏前に置いて献灯供養してきました。

簡素な灯台、華麗な灯台、どちらも同じ時代に使われたあかりを灯した道具でした。

素焼きのかわらけに油を注ぎ、灯芯を浸してあかりを灯した器を灯明皿といい、その皿を載せる台を灯台といいます。平泉の遺跡から、12世紀藤原時代の灯台が発掘されています。2枚の細長い木を十文字に組み合わせただけの簡素な作りのもので、皿を安定させるために中央部分を少し削り込んでいます。



テーマ展「あかり」

一関市博物館案内

☎29-3180 ホームページ <http://www.museum.city.ichinoseki.iwate.jp>
 *講座などの申し込みは、電話で先着順

■日時…2月27日(日)13時30分



和算に挑戦 表彰式

平泉藤原時代の灯台や灯明皿と、行灯、燭台、ちょうちんなどの日本の伝統的な灯火具から、石油ランプ、ガス灯などの洋風な灯火具までを「菅原清蔵コレクション」を中心に230点紹介します。

■会期…2月27日(日)まで ■展示解説…2月13日(土)11時～12時

博物館

Ichinoseki City Museum

だより

中尊寺経蔵を照らしてきた灯火具 螺鈿平塵灯台